

平成 19 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 ミサワホーム株式会社
代表者名 代表取締役 水谷 和 生
(コード番号 1722 東証・大証・名証第1部)
問合せ先 広報部長 中村 孝
(TEL . 03-3349-8088)

当社子会社（ミサワホーム北海道株式会社）の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社子会社であるミサワホーム北海道株式会社が平成 19 年 5 月 11 日および平成 19 年 7 月 31 日に公表した平成 20 年 3 月期の中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）および通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想を、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

各 位

会社名 ミサワホーム北海道株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 岩淵 宣昌
 (コード番号 1761 札証)
 問合せ先 執行役員総合企画部長 星加 龍哉
 (Tel. 011-822-1111)

平成20年3月期中間業績および通期業績予想の修正(連結・個別)に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年5月11日付および平成19年7月31日付公表の平成20年3月期の中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)および通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成20年3月期 中間業績予想の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	14,500	170	150	140
今回修正予想 (B)	14,467	173	121	24
増減額(B) - (A)	△33	3	△29	△116
増減率(%)	△0.2	1.8	△19.3	△82.9
(ご参考) 前中間期(平成18年9月)実績	14,484	161	149	147

(2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益 (△損失)
前回発表予想 (A)	14,000	170	150	140
今回修正予想 (B)	13,841	138	88	△11
増減額(B) - (A)	△159	△32	△62	△151
増減率(%)	△1.1	△18.8	△41.3	—
(ご参考) 前中間期(平成18年9月)実績	13,926	149	139	132

2. 平成20年3月期 通期業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	28,800	330	290	270
今回修正予想 (B)	28,800	330	230	120
増減額(B) - (A)	—	—	△60	△150
増減率(%)	—	—	△20.7	△55.6
(ご参考) 前期(平成19年3月期)実績	28,774	320	281	248

(2)個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	27,800	330	290	270
今回修正予想 (B)	27,800	310	210	90
増減額 (B) - (A)	—	△20	△80	△180
増減率 (%)	—	△6.1	△27.6	△66.7
(ご参考) 前期 (平成19年3月期)実績	27,703	323	287	251

3. 修正の理由

(1)中間期

当中間期における北海道経済は、製造業を中心として設備投資の増加がみられるものの、公共投資は、地方自治体の財政面での制約から減少基調が続き、個人消費につきましても雇用・所得環境の厳しさを背景に伸び悩むなど、依然厳しさが残る状況で推移いたしました。

住宅業界につきましても、資材価格の高騰による建設価格上昇や、所得環境の厳しさを背景に住宅取得マインドは低迷し、北海道の新設住宅着工戸数は、14.1%減の2万4千戸となりました。

このような状況下、コスト削減や受注拡大に努めましたが、金利上昇に伴い営業外費用が当初予想より上回り、さらには税効果会計に基づく繰延税金資産の回収可能性を再検討した結果、税金費用が増加したことにより、上記のとおり中間期の業績予想を修正いたします。

(2)通期

当中間期の状況を踏まえ、通期業績予想につきましても上記のとおり修正いたします。

(注) 今回の修正値は、発表日現在入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実なる仮定を前提としており、実際の決算とは異なる可能性があります。